

殿

# 仕 様 書

仕様書番号

FJS-F-2-技-9-089(6)

品 名

FAP

警報用ポリエチレン絶縁ケーブル



富士電線工業株式会社

平成 1年 4月20日 制定	<b>仕 様 書</b> F A P (警報用ポリエチレン絶縁ケーブル)	起案作成	技術部
令和 3年 8月 2日 改定		発行責任者	技術部長

#### 1. 適用範囲

この仕様書は、富士電線工業株式会社が製造する警報用ポリエチレン絶縁ケーブル (記号:FAP)の次のサイズについて規定する。

2×0.9mm	4×0.9mm
2×1.2mm	4×1.2mm

#### 2. 耐火耐熱電線認定番号

FAPの認定番号は、次のとおりである。

J A 4 0 0 9 号 (一社) 日本電線総合技術センター 耐火耐熱電線認定委員会

#### 3. 準拠規格

JCS 4396 (警報用ポリエチレン絶縁ケーブル)

#### 4. 構造

付表1による。

#### 5. 特性

付表2による。

#### 6. 試験方法

付表2による。

#### 7. 標準条長 及び 荷造り

FAPは、1条ずつ200mのタバ巻とし、運搬中損傷のない様にダンボールケース入りとする。

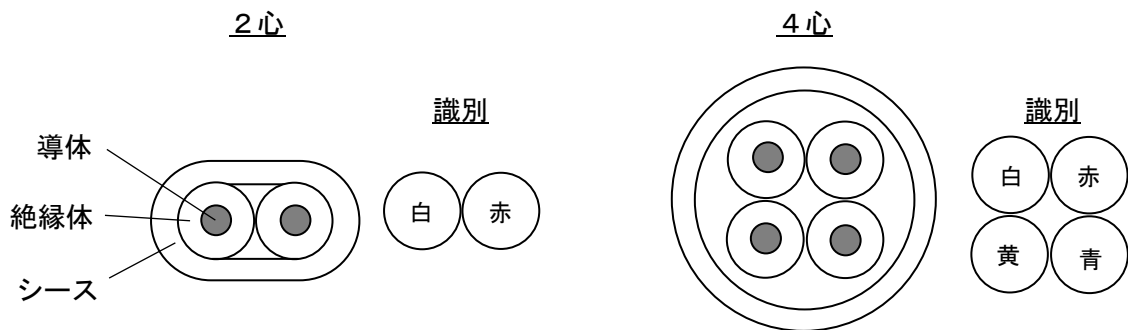
#### 8. 環境負荷物質

FAPは、カドミウム・鉛・六価クロム・水銀及びその化合物を含有していません。

付表 1 構造表

サイズ	導体 (軟銅単線)	絶縁体 (ポリエチレン)		よりあわせ		シース (アイボリー) (塩化ビニル)	
	導体径 (mm)	厚さ (mm)	外 径 (mm)	より 方向	より 外径 (mm)	厚さ (mm)	仕上外径 (mm)
2×0.9mm (平形)	0.9 ±0.02	0.25	1.4 ±0.08	-	-	0.6	2.6 × 4.0 (±0.2) (±0.2)
4×0.9mm (丸形)	0.9 ±0.02	0.25	1.4 ±0.08	右	約 3.4	0.6	4.6 ± 0.2
2×1.2mm (平形)	1.2 ±0.02	0.30	1.8 ±0.08	-	-	0.6	3.0 × 4.8 (±0.2) (±0.3)
4×1.2mm (丸形)	1.2 ±0.02	0.30	1.8 ±0.08	右	約 4.5	0.7	5.9 ± 0.2
表面表示	F A P J C T ケイホウ オクナイ F U J I E . W . C 製造年						

断面図



## F A P

付表2 特 性

項 目		規 格 値	試 験 方 法	
導 体 抵 抗	0.9 mm	29.2 $\Omega$ /km 以下	JIS C 3005 4.4	
	1.2 mm	16.5 $\Omega$ /km 以下		
耐 電 圧	0.9 mm	700Vに1分間耐えること	JIS C 3005 4.6 b)	
	1.2 mm	1000Vに1分間耐えること		
絶 縁 抵 抗		1000 M $\Omega$ km 以上	JIS C 3005 4.7.1 b)	
引 張 強 さ ・ 伸 び	絶 縁 体	引張強さ	10 MPa 以上	JIS C 3005 4.16
		伸 び	350% 以上	
	シ ー ス	引張強さ	10 MPa 以上	
		伸 び	120% 以上	
耐 加 熱 性	絶 縁 体	引張強さ	加熱前の値の 80% 以上	JIS C 3005 4.17 (90°C×96h)
		伸 び	加熱前の値の 65% 以上	
	シ ー ス	引張強さ	加熱前の値の 85% 以上	
		伸 び	加熱前の値の 80% 以上	
耐 油 性	シ ー ス	引張強さ	浸油前の値の 80% 以上	JIS C 3005 4.18 (100°C×48h)
		伸 び	浸油前の値の 60% 以上	
耐低温巻付性		シースの表面にヒビ、割れを生じないこと	JIS C 3005 4.20.1	
耐 寒 性		試験片が破壊しないこと	JIS C 3005 4.22	
難 燃 性		60秒以内に自然に消えること	JIS C 3005 4.26.2 b)	